

令和5年度 静東教育事務所 地域支援課の方針

令和5年度 地域支援課のテーマ 「共に」「創る」

「令和の日本型学校教育」の構築、新たな学校文化の創出、様々な教育課題に向け取り組んでいる市町教育委員会や学校、一人一人の教職員と共にあって、未来に向けた学校づくりへの支援を創造的にを行います。

地域支援課の使命

～すべての子供・教職員・学校・地域における Well-being を目指して～

○ 市町教育委員会の主体的な取組への支援

- ・国及び県の教育施策を踏まえ、各市町の教育施策を尊重しながら、市町教育委員会の取組を後押しする。
- ・市町教育委員会と連帯し、協働して互いの資質向上を図り、広い視野から学校を支える。

○ 人事と指導の一体的な支援

- ・人事管理訪問と指導訪問を中心に、各地区及び各学校のよさや課題を共有して支援する。
- ・一人一人のチャレンジを応援し、資質・能力を互いに高め合う職場づくりを人事・指導の両面から推進する。
- ・新型コロナウイルス感染症対策見直しに対応しつつ、子供を中心として生みだしてきた学校文化の創出を人事・指導の両面から支援する。

《 組織経営の側面から 》

□ 機能的な組織づくりと人材育成

- ・市町や地区の教育力、学校や教職員の未来を見据えながら、キャリアステージに応じて活躍できる場を設定することにより、一人一人のよさや特徴が発揮され、学び続ける教職員集団にしていく。
- ・働き方や組織のあり方を見直し、よりよい関わり合いの中で、目指す資質・能力の育成に向け、生き生きと働くことのできる職場づくりを実現していく。

新任職階別研修、特別研修、人事管理訪問、指導訪問、学校等支援研修、人事異動、会計年度任用職員・加配教職員の配置、地域学校総括監、共同学校事務室との連携

□ 危機管理の徹底と信頼の基盤づくり

- ・子供の命や学校の安全を守るための取組を適切に進めていくことにより、安全・安心な学校づくりを推進する。
- ・危機管理に対する意識を常に高くもち、危機事象に対して迅速に、丁寧に、連携して対応することで、子供の学びの保障、安定した学校体制づくりに努める。
- ・教職員であることの自覚と、当事者意識の涵養を核とした危機管理体制の構築により、不祥事を根絶する。
- ・子供や同僚に対して、多様性を認め、豊かな人権感覚、寛容性をもって行動することで、一人一人の居場所がある温かい学校づくりを進める。

人事管理訪問、学校等支援研修、コンプライアンス通信、サポートルーム相談員、地域学校総括監、校長会・教頭会との連携

□ 地域とともにある学校づくり

- ・地域の特色や資源を活用した教育活動を推進し、子供の姿で成果を発信することにより、地域と互いに信頼、協力する好循環をつくり出す。
- ・地域や保護者と学校教育目標等を共有することにより、地域総がかりで子供を育む体制を構築する。

コミュニティ・スクールの推進、地域学校協働活動の推進

《 教育課程編成の側面から 》

◇ 「未来への種まき」となる授業づくり

- ・自校において育成すべき資質・能力を具現化した単元構想づくりを推進する。
- ・教師用指導資料『令和版 自分ごと（自分の事）として学ぶ子供』の根底にある「生涯学習の視点」と「子供中心主義の視点（肯定的な子供観）」の理念を共有することにより、誰一人取り残さない教育を実現する。

指導訪問、人事管理訪問、研修主任研修会、教育課程研修会、研究指定校、市町指導主事指導力向上研修、市町指導主事連携協議会、ICTの活用、学校等支援研修

◇ 命を守る教育の充実

- ・誰もが安心して学べる学習環境のもと、自他共にかけがえのない存在であることを尊重していくことで、命の重みを実感としてとらえることができる教育を推進する。
- ・教育活動全体を通して、防災、防犯、事故防止、感染症対策等の安全教育を意図的、計画的に取り組むことで、子供自らが判断し、行動する力の育成を推進する。

指導訪問、研究指定校、SC・SSW活用事業、生徒指導月例報告、市町生徒指導担当者連絡会議、『災害時における子どもの心のケアに係る静岡県版資料』

◇ 人権教育及び特別支援教育の充実

- ・互いの多様性を認め、「あなたが大切 わたしも大切」という視点に立った教育活動を行うことにより、豊かな人権感覚を育む教育を推進する。
- ・特別支援教育の視点に立ち、子供の困り感に寄り添うことで、一人一人が生き生きと自らの力を最大限に発揮する授業を推進する。

静岡式 35 人学級、指導訪問、新任特別支援学級担任等研修会、通級指導教室の設置拡大、人権教育指定校

あなたが大切